

ふくつ

12

前を向いて…



特集

ふくつの精神

— コロナに負けない不屈の魂 —

新型コロナウイルス感染症が世界に大きな影響を及ぼし始めて間もなく1年。不安に苛まれる日々の中で、人々が抱える思いや苦悩、乗り越えようとする意志を取材しました。

2020 コロナ禍の出来事

- 1月 ● 日本国内で初の感染者を確認
- 2月 ● 新型コロナウイルス感染症を特定感染症とする政令施行
- 国内初の死者を確認
- 3月2日から春休みまで一斉休校を要請
- 3月 ● 世界保健機関(WHO)がパンデミック(世界的大流行)を宣言
- 東京オリンピック・パラリンピックの延期が決定
- 4月 ● 東京、神奈川、大阪、福岡など7都府県を対象に緊急事態宣言が発出。市では図書館や大規模公園が閉鎖に
- 市内で初の感染者を確認
- 緊急事態宣言の対象を全国に拡大
- 1人一律 10万円の特別定額給付金の支給決定
- 5月 ● 5月6日で解除予定だった緊急事態宣言を5月末まで延長
- 国が新しい生活様式を公表。在宅でのリモートワークやオンライン会議の導入が広がり始める
- 緊急事態宣言が福岡を含む39県で解除
- 「#福津エール飯」第一弾が始まる
- 市内小・中学校で分散登校
- 6月 ● 市内小・中学校の通常登校が再開
- 全国での一日の感染者が5月14日以降約1カ月ぶりに100人を超える
- 7月 ● 国内死者数が千人を超える
- 8月 ● 福岡コロナ警報が発令
- 7月下旬から感染者数の増加が加速。7日には全国で一日最多の1,595人が感染
- 全国の感染者が累計6万人を超える
- 9月 ● 「#福津エール飯」第二弾が始まる
- 10月 ● 市内の感染者が30人を超える
- 福岡コロナ警報を解除

※令和2年11月2日現在の情報です



臨時休館した福岡郷づくり交流センター



毎週末、大勢の人がごみ出しに訪れる公設分別ステーション



感染防止対策のビニールシートを設置したお魚センターうみがめ



施設が閉鎖されたみずがめの郷の多目的広場



普段は多くの利用者でにぎわう図書・歴史資料館、文化会館が連なるカメラステージ



このとき乗客の姿はほとんどなかった1日平均9千人以上が利用する福岡駅構内

閑散とする緊急事態宣言中の市内：



使用禁止のテープが巻かれた遊具



施設が閉鎖され利用者がいない、なまづの郷のすべり台



大きく臨時休館の貼り紙を掲示した市立図書館



毎日釣り客が訪れていた福岡漁港海浜公園

写真は全て5月14日に撮影しました

特集 ふくつの精神

— コロナに負けない不屈の魂 —

今年1月、国内で初めて新型コロナウイルス感染症の感染者が確認され、2月には県内でも感染者が出ました。世界中で蔓延し、56年ぶりの国内開催が決まっていたオリンピックは延期に。来年の開催も危ぶまれている状況です。

4月7日には緊急事態宣言が発出され、学校は休校、また、外出自粛や休業要請によって、経済はかつてない危機に直面しました。

市内でも、感染拡大を防ぐため図書館や大規模公園、駐車場などを閉鎖し、公園の遊具は使用禁止としました。行き場を失い、ストレスをため、どこにもぶつけようのない不安と焦り、気が滅入ってしまう日々が続きました。

この日々を、いかにして乗り越えてきたか。ある人は思い描く未来のために努力を続け、またある人は自分以外の誰かのために時間を費やし、どのような世の中になろうとも「つながり」続け、助け合う姿が福津市にはありました。

序章	閑散とする市内「コロナ禍の出来事」	2
第1章	出産 尊き「命」	4
第2章	学校教育 学び育てる	6
第3章	農と食 広がる支援・届けエール	8
第4章	スポーツ 夢の途中	10
第5章	祭り 繋ぐ伝統	12
終章	風船がつかない縁	14

末永く元気に長生きするよう 願いを込めて…



▲千叶世ちゃんをやさしく
見つめる廣渡亜佳梨さん

3人の子どもたちは千叶世ちゃんに会うのをとても楽しみにしていて、生まれたことを喜んでくれたそうです。すぐに面会できず、残念そうだったけれど、亜佳梨さんが毎日送っていた千叶世ちゃんの写真を見て、帰ってくるのを待ちわびていました。「面会できなかったからいつも泣いていたとか、そんなこともなく、子どもは強いなと感じた。それより、今回の妊娠、出産は私の方が大きなストレスを感じていたくらいで…」と、つらかった妊娠中の生活を振り返り、大きくため息を

つきました。
妊娠中は外出や、人と接することを避けていたという亜佳梨さん。特に妊娠後期は、体がきついのはもちろん、知らず知らずのうちにストレスがたまり、涙が出るほどつらかったと、当手を振り返りまなす。学校や幼稚園も休みになつて、子どもたちは外に出られず悶々とし、一緒に暮らす両親は口には出さないけれど、人一倍、亜佳梨さんの体を心配されていたそうです。けれど「感染したのではないのかと心配されてしまうから『つらい』とか『きつい』とは

言えなかった」と、さまざまに思いが行き交う中、家族を心配させないように、気丈に振る舞っていたそうです。
「今、本当に世界中が命の尊さに直面しているけれど、妊娠したときには、まさかこんな時代になるとは思っていなかった。その真つただ中に生まれたからこそ、末永く元気に長生きするという意味を持つ『ちとせ』と名付け、その願いを込めた。本当につらい時期を、お腹の中でよく乗り越えてくれた」と、無邪気に笑う千叶世ちゃんを、やさしく見つめていました。

出産



▲お母さんがあやすと無邪気にほほ笑む廣渡千叶世ちゃん

尊き「命」

自らに宿る、もう一つの命。「もし自分が感染してしまつたら」という不安を人一倍感じながら過ごす日々。つらく、苦しい時期を乗り越え、新たな命が誕生するまでの母親の軌跡をたどります。

つらかった妊娠中に込めた願い

「立ち合い分娩と面会を中止する」。産婦人科によって対応は異なっていたものの、新型コロナウイルス感染症の影響で、立ち会い分娩や面会などが制限されました。感染防止のため、待合室や診察室に付き添うこともできないなど、多くの家族が、喜びや不安、さまざまな感情を共有することが難しい状況となりました。

「私が出産した産婦人科でも、私の出産直前まで立ち合い分娩や面会は一切禁止だった」と語るのは廣渡亜佳梨さん

んです。5月29日に千叶世ちゃんを出産し、4児の母になりました。夫の信樹さんは分娩に立ち会うことができずでしたが、出産後の面会は制限されてしまいました。面会する家族は、同居の家族が1人だけで、それも30分以内。さらに、その1人は分娩に立ち会った信樹さんだけと決められ、両親や子どもたちは面会することが許されないと、厳しい現実を突きつけられることに。ただ、産婦人科としても感染リスクを減らさなくてはならないという苦渋の決断であったため、亜佳梨さんは、それを受け入れ、乗り越えるしかありませんでした。



学校

オンラインコミュニケーション

子どもたちの元気な姿を見ようと、5月14日に福間南小学校で行われたオンラインコミュニケーション。担任の先生と児童がオンラインで顔を合わせ、クイズなどを実施。約15分間と、短い時間でしたが、友達や先生と久しぶりに話ができた児童、子どもたちの元気な姿を見ることができた先生どちらにとっても有意義な時間となりました。

分散登校

市内の小・中学校では、5月下旬に、学年や学級で登校日を分散し、授業が行われました。両隣の座席には座らずに机と机の間隔を空け、マスクを着用。児童たちは、不安と期待の入り交じる中、およそ3カ月ぶりの登校で友達との再会を喜び、6月から学校が再開することを楽しみにしていました。



教育

学び 育てる

新型コロナウイルス感染症が感染拡大したことで、市内の幼稚園や保育園、小・中学校は一斉休校に。長い春休みの訪れに、困惑し、変化のない毎日に疲弊する家族。そのとき子どもは、親は、どんな思いで、どんな行動をしていたのか。宮司2区の和田義弘さんに話を聞きました。

奪われた当たり前の日常 入学式も見合わせに

3月2日から始まった市内小・中学校の一斉休校。今年4月に小学校に入学した和田家の長男、康佑さんも一斉休校を受け、自宅で過ごすことを余儀なくされた一人です。康佑さんと姉の美里さんは、学校が再開するまでの間、自宅で母の手伝いや勉強などをして過ごしていました。友達と遊ぶこともできず、ストレスがたまりがちだったので、庭遊びやカルタなど、一緒に遊ぶ時間を大切にしていました。康佑さんは、この期間中に自転車の補助輪を外すという目標を立てていたそうですが、父の義弘さんが仕事から帰ると、1日で乗れるようになっていて「想像していた『父親の自転車特訓』を實現できなかった」と冗談交じりに語っていました。また、毎日自転車に乗り、縄跳びなどをしているも、体力が有り余っているのか、夜は普段より寝つきが良くなかったとい

います。緊急事態宣言の発出後、感
染拡大を防ぐために小・中学校の入学式を見合わせる事が決まりました。康佑さんは、新しい生活への緊張や不安がありつつも、小学校への入学を楽しみにしており、この連絡に落胆していました。ただ、学校の配慮で、担任の先生からのメッセージ動画が配信されると、康佑さんは、まだ顔も分からない先生の声をワクワクしながら聞き、新しい学校生活への期待に胸をふくらませていたそうです。

カレンダーからは次々と楽しい行事が消されていききました。あるとき、カレンダーの裏に「コロナめ！」と書いてあることに気付き「当たり前」の日常を奪われることが子どもたちにとってどれほどのストレスになっていているのだろう」と考えさせられた義弘さん。そのこともあり、休校中は、会いに行けない祖父母や親戚とオンラインで会話するなど、楽しく笑っていられた過ごし方を親子で一緒に考えたいと思います。

慣れない環境でもできることを
毎年、運動会や文化祭で見られる子どもの姿は、親の想像よりも格段にたくましく感じられるものです。世の中のさまざまな行事が相次いで中止となり「成長につながる貴重な経験が奪われているのは残念」と本音を語る義弘さん。「ただ、入学式中止の代わりに、記念撮影用の看板を設置してくれたら、長期休校中に手作りの動画を配信してくれたり、慣れない環境の中でもできることを考え、工夫しながら子どもたちを支えてくれる先生たちには感謝の気持ちでいっぱい。これからの人生、自分自身ではどうにもならないことはたくさんあると思うけれど、コロナ禍に負けず、前向きに強く育ってほしい」と、元気に遊ぶ康佑さんを温かく見守っていました。



届けエール

緊急事態宣言による休業要請で大変な打撃を受けた飲食店。それを支えたのは「いつもの店の、あの味を守りたい」という温かなエールでした。

休業か営業継続か…分かれ道の先にあったエール
緊急事態宣言が解除された後、通常営業を開始したものの、感染を恐れてか、戻らぬ客足。多くの飲食店では、店内飲食よりも、テイクアウトやデリバリーを利用する人が多く、特にテイクアウト利用者が増加しました。
お店としては、常にリスクと隣り合わせで、お客さんが感染しているかどうか知るすべもない。それでも、生活するためには営業を続けなければならぬ。難しい状況の中「折角来てくれた大切なお客さんなのでありがたい…。でも、その反面、店で

感染者が出たらと思うと、とても不安だった。一時的に休業しようかと何度も考えた」と、中華料理「春香」の店長、松山雄一さんは語ります。
感染症対策として、店の入り口にアルコール消毒液を設置。テーブルは対面同士で座らないよう椅子を間引き、レジにはビニールカーテンを設置していました。その様子に違和感を覚えた常連のお客さんが「何か変な感じだね」と愚痴をこぼしたこともあったそうです。
4月に新型コロナウイルス感染症が感染拡大し始めてから「お客さんの安全を第一に営業を続けていくにはどうしたらいいか」と打開策を考えていた松山さん。

ちょうどその時、大分県別府市が発案した「エール飯」が全国各所で拡散し、地域の飲食店を支援する策として注目されていました。市も、この流行に乗り「#福津エール飯」をスタート。市のホームページやインスタグラム、フェイスブック、広報紙などで市内68の店舗情報を発信しました。利用客の皆さんが料理の写真などでお店を紹介し、エールを送ってくれたことで、松山さんも「テイクアウトとデリバリーを利用するお客さんはとても多かった。休業しようとして考えていたが、皆さんのおかげで何とかやっていくことができたとお客さんへの感謝の気持ちを語ってくれました。

農

広がる支援

花の香りや装いには人を自然と笑顔にする、すてきな力があります。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、花は行き場を失い、生花店や花農家に大きな影響を及ぼしました。

落ち込んだ市場価格 支援の輪広がるも戻らぬ需要
生花店や花農家にとって、卒業式や送別会、入学式などが重なる3月から4月は、1年で最も忙しくなる時期です。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、例年実施されているこれらの催しは中止が相次ぎ、注文のキャンセルが出たことが原因で、バラやダリアなどを中心に取引価格が下落してしまいました。
市内でバラを栽培する花田哲治さんは「緊急事態宣言が発出された4月の売り上げは前年の半分以下に減少した。出荷量は変わらないけれど、

単価が安いので売り上げが上がらない。かつてないほど消費が落ち込んでいる」と、需要と供給のバランスが崩れたことで、市場価格が落ち込んでしまったことを嘆きます。「もし、この状況が長く続けば、数年後にはバラを栽培していないかもしれない」と将来への不安を口にしながら、少し悲しげに手に取ったバラを見つめました。
花の消費拡大のために、家庭や職場に花を飾ることを勧める「花いっぱい運動」を国が実施したことをはじめ、さまざまな団体が家庭での花の消費を促進する活動を展開しました。6月の初旬には「花き卸売市場における生販連携機会の創出事業」

という取り組みで、卸売市場が花農家から花を買い上げ、その花々を公共施設などに花きの装飾として展示されました。市役所内でも、市の特産品であるトルコギキョウやバラなど、色とりどりの花が明るく色付きました。
困っている生花店や花農家を少しでも応援しようと、支援の輪が広がり、家庭での花の消費は拡大しました。しかしながら、結婚式などの催事が以前と同じように行われるには、まだ時間がかかりそうです。花田さんは「こんな状況でも花は咲く。元に戻ることを信じてやっていくしかない」と、苦しい胸の内を語ってくれました。

▲バラ園で、少し目を細めながら遠くを見つめる花田さん

食



夢の途中



新型コロナウイルス感染症は、スでも、毎年夏に甲子園で行われる高校の記憶にも残っているのではないでまぬ努力で鍛え抜かれた心と身体で戦



スポーツ界にも影響を及ぼしました。中野球大会が中止になったことは皆さんしょうか。ここでは、日々の練習と弛う、二人の高校生に話を聞きました。

失われた甲子園への希望 それでも前を向いて

小学2年生の頃に福津で野球を始めた石橋孝汰さん。宗像高校では、打順は4番、守備では二塁手を務めます。石橋さんには、東筑高校で甲子園に出場し、活躍した3歳の離れた兄がいます。兄の背に自分を重ね、自分も甲子園に出場することを思い描き、中学・高校でも、野球一筋を貫いてきました。



「一緒にがんばって来たチームメイトの思い出、区切りとして試合に臨もう」と出場を決心したそうです。

昨年秋の新人戦で県大会準決勝まで勝ち上がり、初めて県のベスト4となった宗像高校。春の選抜大会21世紀杯推薦校にも初めて選ばれていました。しかし、その矢先、新型コロナウイルス感染症の影響で春の選抜大会が中止になってしまいました。野球は高校までで辞めると決めていた石橋さん。「県大会準決勝で敗れ、九州大会に出場できなかった。足りなかったものを少しでも補おうと、練習に励んできたのに、その成果を発揮する場所が失われてしまった」と、当時の空しさを

語ります。さらには全国高校野球選手権大会も中止になり「今までやってきた努力が無駄になってしまった」と、集大成の場が失われ、気持ちの整理がつかない日々が続いたといいます。そんな中、全国高校野球選手権大会の代替試合「がんばれ福岡2020」が開催されることが決まりました。ただ「甲子園を目指して今までやってきた。甲子園につながらないなら、受験勉強をした方がいい」とも考えたそうです。それでも前を向いて「一緒にがんばって来たチームメイト

中止となったインターハイ 経験糧に目指すは自衛官

小学2年生から、福津市と宗像市で活動する少年サッカークラブに入団した、現在高校3年生の福田大樹さん。筑前地区の選抜選手にも選ばれ、県大会にも出場したチームの主力選手でした。中学1年生の頃に、違うスポーツも経験してみようと、柔道部に転向しましたが、またサッカーがしたいと思い、中学2年生の頃、サッカー部に入学しました。その後、努力の甲斐あって、多数の全国大会出場経験があり、県内でも有数の実力校である東海大福岡高校のスポーツ特待生として入学することができました。



自衛官を夢見るのには理由がありました。中学生の頃、熱中症で倒れたとき、その場の保護者の中に自衛官がいて、迅速な応急処置で命を救われました。これに感動した福田さんは自衛官を目指すようになったそうです。「これまで続けてきたサッカーは、友達との絆を深め、サッカーだけではなく、挨拶などの礼儀を含め人間性を高めてくれたと感じている。自衛官になって、これまでの経験を生かし、人の役に立ちたい」と夢を語ってくれました。

しかしそれからは、得意だったポジションには各地から集まった優れた選手が大勢おり、挫折の連続でした。それでも、自分の長所であるスピードと豪快さを生かそうとポジションを変え、昨年の全国高校総合大会では、先発メンバーとして出場。準決勝で強豪の東福

自衛官を夢見るのには理由がありました。中学生の頃、熱中症で倒れたとき、その場の保護者の中に自衛官がいて、迅速な応急処置で命を救われました。これに感動した福田さんは自衛官を目指すようになったそうです。「これまで続けてきたサッカーは、友達との絆を深め、サッカーだけではなく、挨拶などの礼儀を含め人間性を高めてくれたと感じている。自衛官になって、これまでの経験を生かし、人の役に立ちたい」と夢を語ってくれました。

博 多祇園山笠の
流れを汲み、
江戸時代中期に博多の
くしだ 櫛田神社から津屋崎の
かみじょう 波折神社へ勧請するこ
とで始まった津屋崎祇
園山笠。平成16年に
市の無形文化財に指定
された、歴史と伝統あ
る祭りです。

津屋崎祇園山笠

繫ぐ つな 伝統

平成26年に発足300年を迎え、先祖代々、脈々と受け継がれてきた山笠の文化。その間、中断した時期もありましたが、まちの電線が張られれば山笠を低く、昇き手が不足すれば日程を変えて…と、幾度となく訪れた存続の危機を乗り越えてきたといえます。そして今年、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となりました。伝統を繫ぐ上で中心的役割を担う津屋崎祇園山笠振興会会長は何を思うのか。その苦悩と今後の展望に迫ります。



祭り

親子代々愛する山笠 次世代へと繫ぐために

「悔しいけれど、今回は延期せざるを得なかった」と話すのは、津屋崎祇園山笠振興会会長を務める西野正信さん。山笠の目的を「疫病退散・災害防除」と掲げているからこそ「なんとでも開催するんだ」と、振興会の皆さんは一致団結していたといいます。しかし、5月の博多どんたくが中止となり、博多祇園山笠も延期が決定。どうしても人が密集してしまう山笠を実施するのは難しいというところで津屋崎祇園山笠も延期することが決まりました。

会長としての重責を担い、延期を決断した西野さんは「46年前に親父が復活させた山笠を、なんで自分が止めないといけないのか」と、親子2代にわたる因縁めいた



▲若かりし頃の西野さん。孫の龍太郎さんと一緒に

ものを感じていました。西野さんの父、正七さんも、大の山笠好きだったため、西野さんは生まれながらに山笠と関わってきたといえます。

昭和30年頃から始まった高度経済成長期。博多祇園山笠が曜日に関係なく7月15日に開催されるのと同様に、当時の津屋崎祇園山笠も7月19日に開催されていました。経済が飛躍的に成長を遂げたのに伴って、山笠の若い昇き手が減少。山笠を昇くことができなくなり、人手不足になってしまいました。「やめちゃいかん」と言っていた。最後まで反対があったものの、昭和38年に中止となりました。

それでも次の年、また次の年にも「何か足りない」と感じていた正七さんが発起人となって「もう一度山笠を作ろう」と動き始めました。そして12年後の昭和50年

に、とにかく山笠を1本作ろうということで復活。以前と同じ津屋崎祇園山笠に戻りたいという正七さんの願いが叶ったのは、それから5年後のことでした。西野さんは「今年1年は恨まれるかもしれない。決断はともなうつらかったけれど、私たちは次につなぐ使命がある」と、未来を見つめます。

「祭りは、好きな者だけが熱意を持ってやっても続かない。後継者をつくってこそ次につながる」と西野さんは後継者育成にも力を入れていきます。その活動の一つとして、津屋崎小学校の3年生に出前授業を実施。歴史を伝えるだけではなく、子ども山笠をつくり、クラス全員で山笠を動かします。子どもも先生も大声を出して盛り上がり、クラスの絆が深まるのを

子どもたちは体感できているといえます。西野さんの孫、龍太郎さんは、小学生の頃この出前授業を体験。西野さんは「龍太郎が中学1年生になった今も、そのときの絆を大事にして、地域の祭で子ども山笠を披露してくれた。それ自分たちの後輩にも残していこうと実行委員会まで作ってくれて、まさに私の願い通りだった。こういった核となるものが一つでもあれば、それが広がって団結心が生まれていく。そうして津屋崎が団結する、その一つが山笠だと思ふ」と親から孫まで4代にわたり山笠を愛し、その役割と大切さを後世に繫ぐ役割を担いながら、また次の100年に続いていくことを心から願っていました。



◀津屋崎の波折神社で少し悲しげに遠くを見つめる西野さん

風船がつないだ縁

勝浦地区で毎年開催しているマル勝まつりでは、最後のプログラムとして地域の人や児童が菜の花の種と、手紙を付けた風船を飛ばしています。種が届いた人からは「届きました」「菜の花が咲きました」という連絡が入るそうです。

昨年のマル勝まつりで飛ばした風船の一つは、京都府刈田町の「医療法人白寿会」に勤める中島さんに届き、勝浦小学校に「風船届きました。種をまいています」と電話がありました。その後も、中島さんと勝浦小学校とのつながりは続き、令和元年度の卒業生全員に文房具をプレゼントしてくれたこともあるそうです。

令和2年6月、小学校は再開したものの、新型コロナウイルス感染症感染予防のため、児童が下校した後、先生たちは消毒作業をしなければならませんでした。そんなとき、中島さんから「何か困っていることはありませんか」と、一本の電話が入りました。

消毒作業のときに使うビニール手袋を業者に発注していたものの、受注が増えているせいか在庫切れで、調達ができずに困っていました。花田校長が、下校後の消毒作業の話やビニール手袋が不足している話をすると「分かりました。私が経営する会社で商品を取り扱っているので送ります」と返事があったといいます。するとその翌日、大きな段ボールが速達で届き、中身は1600枚のビニール手袋でした。

「withコロナ時代」と呼ばれる今、働き方や学び方、さまざまなことが変化しています。さらにオンライン化が進み、人との関わり方も変わっていくでしょう。そんな中でも、変わらぬ伝統が縁をつなぎ、互いに励まし、助け合うことにつながりました。たとえ顔が見えなくても、触れ合うことができなくても「つながり続ける」ことの大切さは変わりません。空に舞う風船が人と人をつないだように、これからも、つながりが生まれ続ける福津市であることを願います。



市民ボランティア「ふくふく Foods」の皆さん
子育て世代への食品配布



福津暮らしの旅
オンライン旅



多数の団体や個人から
消毒液やマスクなどの寄贈



傾聴ボランティアほほえみ
ふれあいコール



花火師の皆さん
キズナ花火

考えて、工夫して、もがいて
今できることを…
その先にある笑顔のために
がんばろう！福津



ふくつ観光協会
オンラインバスツアー



オンライン公民館@福津 実行委員会
オンライン公民館



市商工会青年部
県持続化緊急支援金申請支援



終息したらまた美味しい空気を吸いに帰ります。(Y・Kさん/北九州市)

今は福津には帰れないけど、みんなで乗り越えて、笑顔で福津に帰省できる日を楽しみにしています。(E・Kさん/埼玉県)

落ち着いたら帰省します。たくさん笑顔に会えますように。(Y・Mさん/鹿児島県)

帰省できなくなると残念ですが、いつもふるさと福津を想っています。こんなときだからこそ、次に福津に帰ることが一層楽しみになっています。今を乗り越えていきましょう。(A・Mさん/東京都)

小さな子どもがいるので帰省を諦める事になりましたが、この事態が収束したら、また自然豊かで人も温かい福津に帰りたいたいと思っています。今は大変な時期ですが、一人一人が出来る事をやって、1日でも早くいつもの日常を取り戻せるように一致団結してがんばりましょう。いつも福津の事を想っています。(A・Yさん/大阪府)

不屈の精神でがんばりましょう。(M・Hさん/アメリカ)

離れてみて、福津が恋しく感じます。終息したら福津に帰りたいです。(K・Tさん/遠賀郡)

今は帰れないけど、思いはひとつ。遠くにいるけど、故郷の皆さん、実家の家族の無事を祈っています。(M・Aさん/兵庫県)

緊急事態宣言中に 海外からも届いた 温かい言葉

感染拡大を防ぐため、市では「帰省せず自宅で過ごす」ことを呼び掛けました。すると、この趣旨に賛同してくれた市外の福津市出身者 54 人から、温かい励ましの言葉が届きました。

まちの話題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。
連絡先 市まちづくり推進室 ☎43・8113



仕事の魅力を肌で感じる1時間

県立光陵高校で市商工会青年部員が出前授業



▲今にも料理を始めそうなコックの衣装で生徒の前に登場した花田さん

県立光陵高校では、仕事や職業の研究を通して、将来の進路決定の材料とするための学習時間を設けています。10月15日、1年生を対象に、保険会社や塗装店などで働く、市商工会青年部員10人が講師となり、授業を行いました。

中でも、洋食店のハイドパークを経営する花田政雄さんは、時折生徒たちに「人は何で働くのか」などと問いかけながら、中学・高校生時代をどのように過ごしてきたのか語りました。また「新型コロナウイルス感染症が蔓延する状況下で、何が大変だったか」という問いに対しては「緊急事態宣言とともに休業し、廃業かなと思った。少し休んでテイクアウトを始めたけれど売り上げは足りない。でも何もしないで諦めるより、何とか店を存続させようともがいた結果、盛り返すことができた」と熱弁。1時間の講義を聞いた生徒は「進路を決めるために役立てたい」と感謝の気持ちを伝えていました。

全日本大会の切符をかけて

プリンセス駅伝in宗像・福津



▲第3区で区間新記録の走りを見せた積水化学の新谷仁美選手

福津・宗像両市で、10月18日、女子駅伝の日本一を決める全日本実業団対抗女子駅伝の予選会「第6回プリンセス駅伝in宗像・福津」が行われました。

全国各地から参加した28チームの中から14チームに与えられる全日本大会の出場権をかけて、発着点の宗像ユリックスから津屋崎干潟、宮地嶽神社などをめぐる全6区間42・195kmのコースで熱戦を繰り上げました。

毎年、沿道では、市民や各チームの応援団が熱い声援を送っていました。今回、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、沿道での応援は自粛。それでも、選手たちは懸命に走り、襷をつなぎました。その結果、大会を制したのは積水化学。福岡県勢では九電工が4位に入りました。

命の大切さ、おいしさの秘密に触れる一日

「おいしさのひみつをみつけよう！」が開催



▲真剣な表情でトウガラシを摘んでいました

野菜の収穫やその準備などを通して、農家の仕事を知り子どもたちがのびのびと体を動かす機会をつくらうという企画「おいしさのひみつをみつけよう！」が、本木のくわの農園で開催されました。参加した子どもたちは、トウガラシの収穫や、キャベツに日が当たるように、キャベツ畑の雑草を踏む作業を体験。体験後には、地域の猟友会の皆さんが獲ってきたばかりのイノシシを食べながら、命の大切さを学んでいました。

心地よい秋風を感じながら

松林ウォークが開催



▲今年は規模を縮小しての開催でした

福岡地域郷づくり推進会主催の松林ウォークが10月25日に開催されました。普段、地域の皆さんが保全活動を行っている花見地区から西福岡地区までの松林、約6kmのコースに、200人以上が参加しました。古賀市からの参加者は「松林がしっかりと手入れされていて感動した。海風も気持ちよく、参加してよかったです」と語ってくれました。

一週間分のお米をありがとう

上西郷小学校に米を寄贈



▲児童と一緒に給食を食べる伊藤さん

50年以上前に上西郷小学校を卒業した伊藤弘章さんが60kgの米を母校に寄贈しました。10月20日、伊藤さんは上西郷小学校を訪れ、6年生の児童と一緒に給食を食べながら「昔の給食で何が一番おいしかったか」という質問に「鯨のカレーライス」と答えるなど、楽しい時間を過ごしました。児童から「お米を食べて元気に過ごしていきます」と、お礼の手紙が渡されると、伊藤さんはうれしそうに手紙を受け取っていました。

日頃の感謝の気持ちを込めて

株式会社キューヘンが約300鉢のランを寄贈



▲市役所にも30鉢のランを寄贈いただきました

株式会社キューヘンが毎年開催している「ゆのか祭り」が、新型コロナウイルス感染症の影響で中止に。そこで「何か違うかたちで地域の人に感謝の気持ちを示そう」と、市内小・中学校や病院、市役所に約300鉢のランを寄贈。また、祭りの後には社会福祉法人サンテラス福祉会への寄付を24年続けており、今年も11月に寄付をされました。



福津防災 備えあれば 憂いなし!

もしも突然の集中豪雨に襲われたら・・・もしも大きな地震が起きたら・・・あなたや家族は大丈夫ですか。発生時間が夜中や通勤中だった場合はどう行動しますか。被害を減らすためには、災害を正しく理解し、備えることが大切です。

年末年始は火の用心!

冬は、気温が低下し、空気の乾燥や暖房器具の使用機会が多くなることから、火災が非常に発生しやすい時期になります。火災の予防を心掛け、年末年始を過ごしましょう。

大切な家族や財産を守るための注意点

- ①外出時や寝る前には、必ず火元を確認する
- ②暖房器具の故障は発火の原因となるため、定期的に点検する
- ③電気製品のコンセント部分のほこりやゴミを取り除く
- ④電源タップの容量を超えたタコ足配線をしない
- ⑤ストーブや電気ヒーターは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
- ⑥ガスコンロなど、火元のそばを離れるときは、必ず火を消す

また、住宅用火災警報器、消火器などの設置や、その定期的な点検によって、もしもの火災に備えておくことも非常に大切です。

問い合わせ 市防災安全課 ☎43・8107



このコーナーでは悪質商法や商品事故など実際に起きている、消費生活における問題事例を紹介しています。消費者被害は決して他人事ではありません。迷ったり、困ったりしたら、一人で悩まず、ぜひ相談してください。

相談事例 ネットで注文した商品が届かない

ブランドのバッグが安かったので注文しましたが、2週間が過ぎても届きません。メールで問い合わせても返信がなく、既に1万円を振り込んでいるので返金してほしいです。

アドバイス 「前払い」だけのサイトに注意

注文する前にインターネット通販に関する注意点として、次のことを確認しましょう。①事業者の名前、住所、電話番号の記載があるか ②商品価格が極端に安くないか ③支払い手段が前払いのみではなく複数あるか ④相手が海外事業者の可能性もあるので、ウェブサイトの日本語の表現が不自然ではないか ⑤振込先の口座名義が個人名でないか、なども確認しましょう。事前に、当該サイトに関する評判も見ておくとよいでしょう。

*毎週月曜・水曜・金曜日(午前9時～午後4時)は市消費生活相談窓口 ☎43・8106で相談を受け付けています。
*県消費生活センター ☎092・632・0999でも、随時相談を受け付けています。

問い合わせ 市地域振興課 ☎62・5014



▲準備会議代表3人が提案しました

10月19日、市長が本部長を務めるSDGs未来都市推進本部会議(以下、本部会議)を開催しました。今回は公募

市民が考えた、共働が進む未来を提案

市民19人で構成される「幸せのまちづくりラボ企画運営準備会議(以下、準備会議)」の代表3人から共働推進の核となる「幸せのまちづくりラボ(仮称)(以下、まちラボ)」の企画運営の在り方について提案がありました。

まちラボは「市民共働で推進するまちづくりの仕掛けをする存在となるべき」であり、「まちづくりに関わりたいが活動ができていない人や企業等」と「すでに活動をしている組織等」とをつなぐ役割を担ってほしいとの提案がありました。取り組みとして①ま

ちづくりの担い手が求める必要な相手との紹介を通じて、世代・立場・地域などの異なる属性の担い手をつなぐ②まちづくりに必要な学びを元、まちの未来に繋がる人材育成を行う③市民の幸福度に関する調査や研究を行う④まちづくりの担い手の応援団として取り組みを支える、などが示されました。また、これらにより効果的に進めるためには、まちラボに行政・市民・企業などの多様な主体が持つ「まちづくりに必要な幅広い情報」が集約されるべきであり、その運用には「まちづくりの担い手が必要とする情報や学びとつなげ、取り組みを支える人」の存在が何より重要であると説明しました。

提案後は本部会議メンバーから具体的に取り組む上での質疑があり、活発な意見交換が行われました。

市では準備会議からの提案を受け、内容をできる限り反映したまちラボ設立に向け、今後、取り組みを進めていきます。

問い合わせ 市まちづくり推進室 ☎62・5017



このコーナーでは、持続可能で、誰もが幸せなまちづくりの実現に役立つ情報を掲載しています。



▲原崎市長に提案書を渡す準備会議メンバー

12月のイベント案内

ボランティア主催のおはなし会についてはお問い合わせください。

おはなし会
木曜おはなし会 0・1・2(2歳児以下) 10日(木)午前11時～午前11時20分
日曜おはなし会 (3歳児以上) 毎週日曜日 午後3時～午後3時30分

映画会
子ども向け 12日(土)午後2時～「クリスマスの鐘」30分
大人向け 20日(日)午後2時～「南極 深海に巨大生物を見た」49分

*イベントの際、体温測定を行います。また、状況によって開催を取りやめる場合があります。途中参加はできません

小学生向け

「大人は知らない今ない仕事図鑑100」澤井智毅監修 講談社
今まで当たり前前だった仕事やそのやり方が見直しを迫られています。この変化を受け止め、未来に必要な仕事は何か、考えてみましょう。

「イルカと少年の歌」エリザベス・レアード作 評論社
元漁師の父から海辺に行くことを禁じられて育った11歳のフィン、アクシデントで海に落ちたことから、両親の秘密を知ります。

CD

「MISIA SOUL JAZZ BEST 2020」MISIA
MISIAの7年ぶりのアルバムはソウルジャズ。ヒット曲の再録や4つの新曲、国内外のアーティストとのコラボレーション曲もあります。

「白い恋人たち／男と女」フランシス・レイ
美しく切ない映画音楽を多数作曲した巨匠の名曲が集められています。アコーディオンの名手であったレイ自身の演奏も含まれています。

動物の看護師さん 大月書店
動物、飼い主、獣医師の三者それぞれに寄り添い懸け橋となって治療を進める動物看護師。その仕事を、6人の体験で描くノンフィクション。

「僕たちの部活動改革」神谷拓著 かもがわ出版
突然の廃部の危機を乗り越えるために、男子バレー部は部活動運営を自分たちで行うことに。やさしい小説を題材に部活運営を解説します。

「極地絶景」クント・フェアラフ編 青木柙訳 グラフィック社
北極圏を緯度別に、その土地の表情を捉えて紹介する写真集。深いブルーの氷の世界や広大な無人の大地、カラフルな集落などを紹介します。

図書館の今月のおすすめ 運命の一冊

一冊の本が、ひょっとしたらあなたの人生を変えるかもしれません。紹介している本以外にも、約20万冊の本がある市立図書館に、運命の一冊を見つけにきませんか。



きっとステキな本に出会える……はず

問い合わせ 市立図書館 ☎42・8000



福津市竹尾緑地における学校建設に対する土壌・地盤工学からの見解

福津市が竹尾緑地において計画している学校建設に対して、地形・地盤工学の観点から以下の見解を述べさせていただきます。

■ 竹尾緑地及びその周辺の地形・土壌の条件

地形図や過去（1960年代）の航空写真、ボーリング調査結果から、竹尾緑地とその周辺の地形・土質には次のような特性があると推察される。

- 1) 当該緑地周辺は、元来、谷筋・川筋の地形であり、竹尾緑地をはさんで南東から北西に走っている尾根地形は自然堤防もしくは地山が残った丘陵地である。
- 2) ボーリング調査において粘土層が出ているのは、かつて、土砂が流入・堆積した際の境界面である可能性が高い。
- 3) また、ため池が上流部にあることから、この地形は、土石流堆積物によって形成されたと考えられる。

■ 学校建設に対する見解

・竹尾緑地を候補地として、学校施設を建設することは技術的には可能である。ただし、地下水位が高い粘土層の上に建設するにあたっては、周辺域への地下水問題を十分に検証し、必要な対策を講じることが必要であり、相当なコストがかかることが想定される。

・竹尾緑地の上に盛土をすると、現在でも表面に浸出水があるほどに地下水位が高いが、さらに水位を高めることは確実である。その結果、竹尾緑地の下流側の住宅地を中心に、地下水位が上がることに起因して、様々な箇所から地下水がしみ出す懸念が強い。

・防災の観点から、竹尾緑地は、ため池が決壊した際のバッファ機能を有していると考えられる。近年は豪雨による災害もしばしば発生していることから、このような土地に学校施設を建設することについて、今一度、安全性の検討をなされることを願いたい。

令和2年10月23日
九州大学大学院 工学研究院 附属アジア防災研究センター
教授 三谷 泰浩

小中学校の過密化は今

10月30日、令和2年度第2回福津市総合教育会議において、本市の小中学校の過大規模校緩和対策について、市長と教育委員会が3回目の協議および調整を行いました。問い合わせ 市まちづくり推進室政策秘書係 ☎43・8113

総合教育会議とは

総合教育会議とは、教育行政について規定している「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の平成27年法改正により新たに設けられた会議です。この会議の目的は、学校を設置または廃止するための計画を作成しその事務を行う教育委員会と、市の予算を管理し、都市計画、防災、青少年健全育成などをはじめ多岐に渡る責任と総合調整権を有する地方公共団体の長が、それぞれの執行機関の責任について、考えていかなければならない課題とあるべき姿を共有し、民意を反映しながら十分な意思疎通を行い、権限の調整を図ることにあります。

今年の1月28日、7月30日、10月30日に行われた3回の会議等では、市長と4人の教育委員の皆さん、教育長も含めた6人で、まずは市の人口増加に伴い、現在すでに過密化が深刻化し、運動場や体育館、図書室の使用をはじめ、さまざまな制約が生

水の周辺住宅に与える影響に関しては、確実に解決できるといふ根拠がない限り、児童生徒および周辺住民の生命と財産を守る義務がある市長の立場からは、予算をつける決定ができないことについて、繰り返し理解を求めてきました。

専門家の見解

ため池の安全性と地下水について根拠を持つために、9月議会において、竹尾緑地内の地質調査費と竹尾池の堤体の安全性と耐震性能調査費を予算計上しましたが、費用が多額なことや調査に時間がかかることなど

じている福岡南小学校、福岡小学校の児童の教育環境の改善と、次に、市の人口推計から、今後過密化が深刻化する可能性が高いと判断されている福岡中学校、津屋崎中学校、津屋崎小学校への中長期的な対策の2点について、児童数が減っている地域の学校施設の空き教室の活用や、それに伴う校区再編や校区選択、スクールバスの活用などの可能性も視野に入れながら、新設計画の内容について、早急な方針決定を目指して、情報共有及び協議を行ってまいりました。

竹尾緑地の新設校案とは

教育委員会が提案しているのは「市の都市公園である竹尾緑地内へ施設分離型の小中一貫5・4制を導入した中学校（福岡南小学校の6年生はこの新設中学校へ通う）を新設し、さらに福岡中学校も施設分離型の小中一貫5・4制の中学校（福岡小学校の6年生が福岡中学校に通う）に変更する計画」です。市長は、市の財政状況によって1校

総合的な判断によって、議会に承認されませんでした。

それでも、過密化が深刻化している2つの小学校の教育環境の早急な改善のためには、市長と教育委員会で止まることなく協議を進めていかなければならないため、10月30日の協議では、総合教育会議が、必要に応じて関係者や学識経験を有する方から意見を聴くことを認めていることから、市長の懸念事項について、九州大学大学院工学研究院流域システム工学研究室の島谷幸宏教授、九州大学大学院工学研究院附属アジア防災研究セ

しか新設できない状況の中で、10年以上かけて地域と家庭と学校が力を合わせて育んできたコミュニティスクールをそのままの形で継続でき、保護者や児童に負担を強いる校区再編を伴わない中で、小中一貫5・4制を導入することによって、中学校だけでなく小学校でも過密化の緩和が図れることなど、教育的側面から優れた計画であることを十分理解しています。

しかしながら、以下の点を懸念しています。①古賀市に隣接した市の南端という立地から、現在の日蔭野地域の児童生徒が成長した後に、新たに安定した児童生徒数が見込めないこと②竹尾緑地の真上にあるため池については、近年全国的に豪雨などの自然災害による被害が相次ぐ中、ため池がオーバーフローまたは決壊した際に竹尾緑地が緩衝機能を果たすことを想定しているため、一部を盛土するなどして遊水池の容量を減らすことによる周辺住宅への影響③帯水層がある軟弱な地盤が学校施設へ及ぼす影響への対策にかかる事業費④地下水湧水を埋め立てることによって周辺住宅へ及ぼす影響⑤大型商業施設が隣接することによる交通事故や思春期の生徒に及ぼす影響などです。中でも、ため池の安全性、地下水湧

ンター三谷泰浩教授、九州大学大学院工学研究院環境社会部門 広城吉成准教授の3人の学識経験者に専門的な見地から見解をいただき、教育委員会と情報を共有しました。その見解を基に、会議の中で、市長は正式に竹尾緑地に予算をつけることはできないことを教育委員会へ伝えました。それによって、今年2月以降、判断材料の不十分さを理由に保留となっていた教育委員会案について、建設地を竹尾緑地とすることはないとという決定をしたことになりました。



歴史を重んじ、未来を見据えて 変化を恐れない都市へ

市民に愛される学校を

10月30日の総合教育会議の場で「竹尾緑地での学校新設案に予算をつけない」という判断を、正式に福津市教育委員にお伝えいたしました。その理由は本文でお伝えしたとおりです。

本市の学校新設は、エンゼルススポット、中央公民館など長い間市民に愛されてきた公共施設を廃止するという市として苦渋の決断をすることによって確保した財源により計画されています。これらの施設に対する市民やスタッフの思いを無駄にしないよう、将来に渡り持続可能で多くの市民に愛される学校にしていかなければならない責任を重く感じています。

福津市のいまとこれから

福津市は、福岡海岸、津屋崎千軒、唐津街道畦町宿、世界文化遺産構成資産新原・奴山古墳群、光の道も素晴らしい宮地嶽神社など、貴重で個性豊かな観光資源を擁しています。さらに、自然環境に恵まれながら、交通の便もよく、大型商業施設の誘致にも成功してきました。現在は農水産業やその流通・加工、飲食業などの持つ個性を生かし、総合的に観光産業を発展させる方策を考えながら、次のステージへ成長していこうとしています。それらの可能性や豊かさに価値を見出してくださった多くのかたの移住によって、近年他市には見られないような人口の伸びを見せてきました。また、福岡駅周辺地区、津屋崎地区、東福岡駅周辺地区という市内3つの拠点についても、それぞれの歴史と個性を重んじ、そこに住む方の地域を愛する思いを大切にしながら、さまざまな施策を進めています。

学校も地域の拠点にとって大きな役割を担う施設です。市全体のバランスや歴史的な成り立ちと、丁寧に調和を図ってこそ、地域の活性化に大きな力を発揮します。ある地域で子どもが減っている時期には増えている地域の子どもの受け入れながら、市全体としてバランスの取れた活力を保っていくべきです。本市の3つの拠点には、それぞれ中学校が存在します。今年も開催された市役所議会棟での中学生未来会議で、3中学校の生徒会の皆さんと福津の未来について、彼らが思う地域の課題について、貴重な意見交換の機会をいただき、彼らのしなやかで逞しい心身の成長を見守られている皆さまへの感謝を新たにしました。3つの拠点それぞれの中学生在が、互いにもっと交流し、切磋琢磨しながら「福津の中学生」という自覚を育める環境。まちづくりとコミュニティスクールがリンクしながら発展していくために、地域の歴史を重んじ、未来を見据えて、変化していく市でありたいと考えています。

受け継いだ歴史を未来へ

明治・大正・昭和、本市の校区変遷の歴史をひもとくと、行政、教育、その時々々の先人による英断や決断が今の福津のまちづくりと密接につながっていることがわかります。今後、コミュニティスクールの枠組みである校区は再編せざるを得なくなるかもしれませんが、先人より受け継いできた遺産である地域の絆と人間力をもつ皆さまなら、新たなコミュニティスクールの歴史の1ページを作っていっていただけたらと思います。

子どもたちの安全な学校生活と一刻も早い過密化解消のため、今後とも、市民の皆さまからの貴重なご意見とご協力を心よりお願い申し上げます。

福津市長 原崎 智仁

コラム

「適正規模・適正配置に関する基本方針」について

過大規模解消を考えるには、過大規模校の定義が必要です。「公立小・中学校の国庫負担事業認定申請の手引き」では、31学級以上を過大規模校と定めています。適正規模は、市町村ごとに定めることができ、多くの市町村がパブリックコメント（市民意見公募）を経た上で「〇～〇学級を適正規模とする」といった独自の「適正規模・適正配置に関する基本方針」（以下「基本方針」）を定めています。この「基本方針」を定めない場合は、学校教育法施行規則41条（小・中学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする）および文部科学省の小学校設置基準（小学生の一人当たりの運動場面積は10㎡）などを基準とすることになります。

つまり、「基本方針」を定めることにより、校舎増築、校区再編、学校新設などの手段を、市町村の実情に応じ、より適切に選択できるようにするのが、

参考：福津市は、まだ「基本方針」を定めていません。現在福岡小学校の普通教室が50教室、一人あたりの運動場面積が4.6㎡、福岡南小学校の普通教室が55教室、一人あたりの運動場面積が5.3㎡となっており、早急な過密化対策が必要です。

竹尾緑地における学校建設計画に関する見解

福津市が竹尾緑地において計画している学校建設にあたり、以下の見解を申し上げます。当該計画地は、土地区画整備事業前から谷間の水田・湿地となっている場所であり、計画地の上流側には貯水量20,000m³を超えるため池（竹尾池）が存在する。当該計画地における学校建設計画は、1) 環境面、2) 防災面、3) 地盤工学の面から問題があると考えられる。

1) 環境面からの問題

竹尾緑地では、湧水が各所に見られ、良好な湿地が形成されている。この湿地で記録されているカスミサンショウウオ、ニホンアカガエルなどの絶滅危惧種に指定されている両生類は、山の環境と湿地の環境の両者がそろっていることが必要であり、都市内に重要な里山湿地生態系が存在していることを示している。福津市にとって大きな財産である。この湿地には、これらの絶滅危惧種のほか保全のために湿地へと移動されたメダカやカヤネズミ、近年減少が著しいトノサマガエルなどの希少な生物の生息も多数みられる。

これら希少な動物が生息する環境は、湿地を中心とし周囲の樹林地や草場がセットになった景観としての環境が重要である。市民のさまざまな自然観察会などにも利用されていることも重要である。

もしも、この竹尾緑地を改変する場合は、現在の生態系を代償する周辺に林地を持った湿地の創造や再生が必要であり、そのためには多くの時間と費用を要するものと考えられる。

2) 防災面からの問題

ため池の防災に関しては以下の課題がある。

明治時代に作られた竹尾ため池は、近年維持管理されておらず、堤体の地震に対する安全性、漏水に対する安全性、越流に対する堤体の安全性に課題がある。地震の安全性については、子どもたちがため池下流で活動していることを考えると、動的な解析を行い、十分な耐震対策が必要である。漏水に対する安全性については、堤体の調査を実施し、十分な安全対策を行う必要がある。越流に対する安全性については、現在の洪水吐は不十分であり、越流すれば破堤の危険性は極めて高い。さらに、維持管理されていないため、貯水池は水位が高い状態に保たれており、洪水時の貯水容量は小さい状況にある。「ため池浸水想定区域」によると、竹尾池が自然災害等により決壊し、ため池の水の全量が流出した場合に想定される下流側の浸水範囲は、当該緑地内の広い範囲で1.0m以上～2.0m未満、最下流側では2.0m以上～5.0m未満と見積もられており、下流側の道路で氾濫が収まると想定されている。

しかしながら、現在の低地を埋め立て盛土することによって、遊水池としての容量を減らすこととなり、学校施設やその下流側の住宅地が浸水するおそれがある。さらに、今後、気候変動により、降雨強度が強くなると想定されており、想定外の豪雨におそわれることも十分に考慮しておくことが重要と考える。このような防災面から懸念される事項について、市は、確実に安全性が担保されることを保証した上で、学校建設を行う義務があると考えられる。

3) 地盤工学の面からの問題

竹尾緑地では浸出水が各所に見られ、緑地周辺のボーリングデータによると、地下水位が1～2m程度とごく浅い箇所もあり、工事による地下水脈の分断や、地盤改良による遮水等が思いも寄らない地下水の浸出を周囲の住宅地に及ぼすおそれが予想される。また、貫入試験（N値）によると地盤はかなり軟弱であり、建設した建物の安定性にも課題があると考えられる。これら地盤工学の面からの問題については、周辺住民の住環境に対する安全性の確保や、建設後の学校施設の安定性が十分に保証されることを提案する。

令和2年10月23日 九州大学大学院工学研究院流域システム工学研究室 教授 島谷 幸宏

竹尾緑地開発に関する意見書

竹尾緑地はカスミサンショウウオ（環境省絶滅危惧Ⅱ類）、ニホンアカガエル（福岡県絶滅危惧Ⅱ類）、カヤネズミ（環境省絶滅危惧Ⅱ類）などの生息地であり、この緑地における開発行為は2015年9月の国連サミットで採択されたSDGsにおける「2020年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼などの水に関連する生態系の保護・回復を行う。」という目標に反するものである。また、竹尾緑地は湿地帯であり、有機物土壌、粘土土壌が約6m厚を有する軟弱地盤である。こういう地盤に構造物を建設すると、不同沈下・不等沈下が発生する可能性が高い。すなわち軟弱な地盤の上に建物を建てたとき、建物の重みで地中の水分が横に逃げ、水分の失われた体積の分だけ地盤が沈下し、徐々に建物が傾いていくなどの現象が強く懸念される。不同沈下・不等沈下が発生すれば建物にひびが入ったり、建物が傾いたりする。次に井尻川の上流には竹尾池があり、その構造は土の堤防である。土の堤防は水が一たび越流すると容易に崩壊する。

以上、竹尾緑地における開発は、自然環境、地盤環境、防災上において非常に問題のある行為であることを申し述べたい。

令和2年10月14日 九州大学大学院・工学研究院・環境社会部門准教授 博士(工学) 広城 吉成

好いとお!

福津

Readers Voice
読者の広場

読者の声を中心に、みんなと広報・マーケティング係で作る交流コーナーです。広報ふくつの感想はもちろん、市政へのご意見、ふるさと福津市への思いや日々の生活のこと、市内の出来事のリポートなどを掲載していければと考えています。皆さんの声をお寄せください。

街角 カメラリポート

このコーナーでは読者の皆さんから寄せられた、市内の出来事や旬の話題を写真とともにお届けします。

100年ほど前で、敷地は約9万坪もあったそうです。現在は約3分の1が病院の敷地となっています。

福間病院の門は、薩摩藩の江戸屋敷から移設されたもので、文化財の専門家によると「薬医門」といって、御典医にしか設置が許されなかったものだそうです。御典医とは江戸時代に大名に仕えた医師のことです。偶然かもしれませんが、江戸時代に医療に携わった人の屋敷の門が、今は病院の門になっているのも不思議な縁を感じます。

堀三太郎がなぜ薩摩藩ゆかりの門を手に入れたのかは謎のままです。もしかしたら、薩摩藩出身の西郷隆盛の大ファンだったのかもしれない。この地に別荘を構えたのも、近くを流れる西郷川という名前が気に入ったのかも。歴史のロマンを感じさせてくれる福間病院の門。地域の大切な宝だと思っています。(S・Sさん/花見が浜/63歳)



▲重厚なつくりの門が歴史を感じさせます

広報10月号の感想 地域の「見守り」の 力に感動



高年齢者の見守りについての特集が良かったと思います。地域の「見守り」が救った命の記事を読み、とても感動しました。(M・Sさん/西福岡/49歳)

た高齢女性がいることを店に通報した高校生や、店からの連絡を受けて、元気のない高齢男性の元に駆け付けた民生委員など、多くの人たちの連携によって命が救われたことを紹介しました。これからも多くの人たちが協力し合い、誰もが安全・安心に住み続けられる福津になるよう願っています。

保・幼・小の「接続」は すばらしい

市内の保育所や幼稚園、認定こども園と小学校の「連携」から「接続」に置きを置いた取り組みは、子どもたちに寄り添った、すばらしい取り組みだと思います。

(Worldさん/通り堂/65歳)
いつもお便りありがとうございます。市内にはさまざまな幼児教育・保育施設があります。これらの施設はそれぞれ特色ある保育や幼児教育を行っています。子どもたちが小学校へスムーズに入学できるように、共通のカリキュラムの作成などにも取り組んでいます。この取り組みはこれまでの各園・校単位の交流を中心とした「連携」から、より密接なつながりである「接続」という言葉で表しています。この取り組みを通じて、子どもたちが生き生きと学びに向き合える環境がつけられていくことを期待しています。

ノーベル平和賞に思う

今年のノーベル平和賞はSDGs17項目のひとつ「飢餓をゼロに」を目標とする国際連合世界食糧計画が受賞しました。私も以前、寄付したことがあり、とてもうれしく思いました。どこの国であっても人々の命は尊いものです。少しでも「世界のた

めに役に立ちたい」と考える人が増えることを祈っています。(Y・Hさん/津屋崎)

SDGsには飢餓や貧困、経済成長や気候変動など世界が抱えるさまざまな課題の解決が目標として掲げられています。これらの目標を達成するには、一人一人ができることから取り組んでいくことが大切だと思います。

お便り・投稿大募集

「好いとお!福津」は皆さんと一緒に作るページです。広報紙の感想などがあれば29ページの市まちづくり推進室宛てのがきやメールなどで受け付けています。街角カメラリポートは、記事を写真と一緒に市まちづくり推進室宛てに郵送またはメールで投稿

してください。投稿記事は500文字程度で作成し、写真は郵送の場合は印刷したものを、メールの場合は2MB以上のJPEGデータを送付してください。ただし、送信データが10MBを超えると受信できないことがありますのでご注意ください。お送りいただいた内容は、紙面の都合で加筆、修正、短

男女がともに歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。



▲「夫婦の対話を重ねることが大切」と説く長廣夫妻

パパ&ママのための「夫婦会議」の始め方講座を開催しました

10月4日に「夫婦会議」の始め方講座を開催しました。講師には「Onitsuka株式会社 共同代表の長廣百合子さん・遙さん夫妻を招き、就学前の子どもを育てるパパやママ、先々の結婚や子育てを見据えた人など9人が参加しました。講座では、離婚などの危機に直面した講師自身の経験や、調査に基づく事例を交えながら説明。夫婦間の家庭と仕事の両立を巡る問題や、産後に起こる夫婦間の愛情低下など、妊娠・産後・育児期に夫婦間ですれ違いが生じやすくなる

といった話がありました。カップルから夫、妻という関係に変化する新婚の時期はもちろん、父、母という「親」としての役割」が加わる妊娠・産後・育児期に大切なことを前向きに話し合い、互いに協力し合える夫婦関係を築くことが大切です。そこで、夫婦の協力体制を育む「夫婦会議」を始める準備として「夫婦で子育て」を実践する上で大切な考え方、行動、対話の手法を紹介しました。

「夫婦会議」とは、パートナーと、より良い未来に向けて「対話」を重ね、行動を決める場のことです。より良い「夫婦会議」を始めるためには価値観の違いを受け止めることや「迷惑を掛けたくない」と遠慮したり「夫婦だから言わなくても分かるはず」と過信したりせず、感情や考えを言葉に表して伝え合うことが大切とのことでした。

「夫と一度、話す場を設けて、お互いの思いや隔たりを擦り合わせないといけない」と、講座での学びを家庭で生かそうという声から参加者から上がっていました。

市では講座の開催などを通じて、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めていきます。

問い合わせ 市男女共同参画推進室 ☎43・8116

旧ごみ袋の有償交換は 12月25日(金)までです!

令和2年10月1日以降使用できなくなった旧ごみ袋(緑色)を、同じサイズの新しいごみ袋(赤色)に1枚単位で交換します。交換に際して差額が生じるサイズについては、小数点以下切り上げで交換します。

期間 12月25日(金)まで ※土曜・日曜日、祝日を除く
時間 午前8時30分～午後5時 ※毎週木曜日は午後8時まで
交換場所、問い合わせ 市うみがめ課 ☎62・5019



差額の計算例 「大」サイズの場合

1枚あたり7.5円の差額⇒交換の際、1枚の場合は8円、2枚の場合は15円、3枚の場合は23円となります

マイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになります

事前の登録で、令和3年3月(予定)から順次マイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになります。マイナンバーカード読み取り対応のスマートフォンや、パソコンとICカードリーダーアダプタがある人は、マイナンバーの専用サイト「マイナポータル」から登録できます。詳しい内容は市公式ホームページをご確認ください。

国民健康保険や後期高齢者医療保険加入中の入へ
登録するための機器がない人や、自身での登録が難しい

税務署での相談は事前予約をお願いします

税務署では、面接相談の事前予約制を実施しています。具体的に書類や事実関係を確認する必要がある場合など、電話での回答が困難な相談内容は、電話などで事前に相談日時を予約してください。詳しくは、国税庁ホームページ「国税に関するご相談について」のページを確認するか、お問い合わせください。

問い合わせ 香椎税務署 ☎092・661・1031

ふくおか人権ホットラインをご利用ください

誹謗中傷や差別的な取り扱いなど、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題で悩んでいる人に、弁護士が法律的な観点で助言を行う電話法律相談を実施しています。秘密は固く守られ、相談は無料です。

日時 毎月4金曜日午後3時～午後6時
相談電話 ☎092・724・2644
問い合わせ 県人権・同和对策局調整課 ☎092・643・3325

こころの健康相談をご利用ください

毎月1回、こころの健康相談を実施しています。自分のことはもちろん、家族の気になることなど気軽にご相談ください。相談は精神保健福祉士が受け、秘密は固く守られます。予約が必要です。

日時 12月21日(月) 午後2時～午後4時 ※1人1時間
場所 ふくとびあ
定員 先着2人
受付期限 12月15日(火)
受付、問い合わせ 市いきいき健康課(ふくとびあ) ☎34・3351

読書ボランティア養成お話し入門講座」の受講者を募集

昔話などの物語を覚えて本を見ないで語る「お話し」を、基礎から学ぶ講座です。費用は無料で、予約が必要です。

日時と内容
①令和3年1月29日(金) 午後1時30分～午後4時「ストーリーテリングの基礎」
②2月12日(金) 午後1時30分～午後4時「実践①」

③2月26日(金) 午後1時30分～午後4時「実践②」
④3月5日(金) 午後1時30分～午後4時「実践③」
⑤3月11日(木) 午後(時間は未定)「リハーサル」
⑥3月12日(金) 午前10時30分～午後4時「発表会と反省会」

場所 市立図書館
講師 梅田恵子さん
対象 ①～⑥の全てに参加でき、読書ボランティアとして活動をする意思がある人
定員 先着8人

認知症サポーター養成講座を開催

認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を見守る認知症サポーターを養成する講座を開催します。費用は無料、予約が必要です。

日時 令和3年1月8日(金) 午後1時30分～午後3時
受付、問い合わせ 市立図書館 ☎42・8000

飲食店事業者の皆さんへ 感染症対策助成金の案内

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行う飲食店を対象に、令和2年4月1日から12月31日までに感染防止対策として購入したマスクや消毒液、非接触型体温計、仕切りアクリル板などの物品の購入に係る経費を県が助成します。申請内容などの詳細は県のホームページを確認するかお問い合わせください。

対象 次の①～④の全てを満たす事業者
①県内の中堅・中小法人・個人事業者
②食品衛生法に基づく営業許可の取得事業者のうち、その業種が飲食店営業及び喫茶店営業の事業者 ※客席を設けず持ち帰り用の食品提供のみの形態を除く

都市高速の回数券 払い戻し終了

令和3年3月31日(水)をもって都市高速の回数券の払い戻しを終了します。まだお持ちの人は早めの手続きをお願いいたします。詳しくは高速道路公社のホームページを確認するかお問い合わせください。

問い合わせ 福岡北九州高速道路公社福岡高速回数券センター ☎092・631・0122

年末年始のごみ収集

燃やすごみ収集
1月1日(金・祝)～1月4日(月)は休みです。

地域(曜日)	年末最後の収集	年始最初の収集
月・木	12月31日(木)	1月7日(木)
火・金	12月29日(火)	1月5日(火)
水・土	12月30日(水)	1月6日(水)

し尿くみ取り

事業者	年末最後の収集	年始最初の収集
林田産業	12月28日(月)	1月4日(月)
津屋崎サニタリー	12月29日(火)	1月4日(月)

(有料) 臨時ごみ収集
以下の事業者に直接連絡してください。12月30日(水)まで回収します。なお、受付も12月30日(水)までですが、場合によっては回収が年明けになります。

有限会社西村産業 ☎42・2314 株式会社林田産業 ☎42・0444 有限会社津屋崎清掃社 ☎52・1737

問い合わせ 市うみがめ課 ☎62・5019

分別収集

場所	年末最後の収集	年始最初の収集
公設分別ステーション	12月26日(土)	1月9日(土)
せんてい 剪定くず・草ステーション	12月26日(土)	1月9日(土)
古紙・古着倉庫	12月25日(金)	1月5日(火)

自己(直接) 搬入

場所	年末最後の搬入	年始最初の搬入
古賀清掃工場	12月28日(月)	1月4日(月)
本木不燃物処理場	12月28日(月)	1月7日(木)

福岡高等技術専門学校の令和3年度入校生を募集

県立福岡高等技術専門学校での技能習得や資格取得などによって、関連職種への就職や転職を希望する人を募集します。

す。応募資格や各科の定員などの募集要項は「福岡県の職業訓練」ホームページで確認するかお問い合わせください。
募集期間 12月3日(木)～令和3年1月15日(金)
費用 受講料無料 ※テキスト代や資格試験受験料などは

除く
場所 県立福岡高等技術専門学校(福岡市東区)
募集科
1年課程 総合印刷システム科、空調設備科、電気設備科
2年課程 プログラム設計科、自動車整備科、

科、建築科、ロボット溶接技術科、デジタルエンジニアリング科、アパレルサービス科
入校試験日 1月25日(月)
入校日 4月9日(金)
問い合わせ 県立福岡高等技術専門学校 ☎092・681・0261

介護支援専門員・保健師・看護師・保育士の資格を持っている人へ 市役所の任期付職員を募集します

介護支援専門員か、保健師、看護師、保育士の資格を持っている人を対象に、令和3年4月1日採用の任期を定めた職員と、育児休業取得職員があった場合に、その職員に代わって育児休業の期間中働いてもらう職員を募集します。受験資格など詳しくは募集案内をご覧ください。



▲市公式ホームページ

試験日 令和3年1月16日(土)

試験内容 SPI検査、面接

試験会場 市役所

募集案内の配布 市役所総合案内、津屋崎行政センター

で配布する他、市公式ホームページからのダウンロードや郵便請求も可

受付期限 令和3年1月4日(月)必着 ※郵送による申し込み可

試験区分、採用予定人員など

任期を定めた職員	試験区分	行政事務(介護保険認定審査事務)
	採用予定人員	2人程度
	受験要件	・介護支援専門員の資格か、保健師か看護師の免許を有していること ・普通自動車第一種免許を有していること
育児休業代替任期付職員	任期	令和3年4月1日から令和4年3月31日までで、任期は更新される場合があります
	試験区分	・保健師または助産師 ・保育士
	採用予定人員	・保健師または助産師：4人程度 ・保育士：3人程度
共通事項	受験要件	・保健師または助産師：保健師または助産師の資格を有する人 ・保育士：保育士の資格を有する人
	登録	合格者は、採用候補者名簿に令和3年2月1日から令和5年10月31日まで登録し、育児休業を取得する職員があった場合に採用となります。なお、名簿登録期間中に育児休業を取得する職員がない場合は採用されません
共通事項		保健師は併願が可能です

受付、問い合わせ 市総務課 ☎43・8196

第1回募集 令和3年2月28日(日)まで
第2回募集 3月1日(月)～3月16日(火)
授業科目 心理学や福祉、経済、歴史、文学、情報、自然科学など約300科目。1科目から履修可
費用 授業料は1科目1万円 ※入学金が別途必要
問い合わせ 放送大学福岡学習センター ☎092・5853033

放送大学の入学生を募集
 放送大学はBS放送やインターネットを利用して授業を行う、文部科学省・総務省所管の通信制大学です。働きながら大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で、幅広い世代の人が学んでいます。現在、2021年4月の入学生を募集しています。募集学生の種類など詳しくは放送大学のホームページを確認するかお問い合わせください。資料の送付も無料で行っています。

学童保育所の入所児童を募集

学童保育所では、保護者が勤務や病気などで、家庭で放課後の世話ができない小学生の保育を実施しています。申請書は入所を希望する学童保育所に設置しています。なお、申請には勤務証明などの保護者が子の世話をできないことを証明する書類が必要です。詳しくは午後3時から午後5時までの開所時間中に、各学童保育所にお問い合わせください。

対象 小学生 ※小学1年生～3年生が優先

費用 月額5千円 ※別途おやつ代が必要

受付期間 令和3年1月12日(火)～1月30日(土)

申請書配布開始日 12月15日(火)

受付、問い合わせ 神興小学校学童保育所(神興小学校内) ☎43・0511、神興東小学校学童保育所(神興東小学校内) ☎43・4168、上西郷小学校学童保育所(上西郷小学校内) ☎43・4032、

福間小学校学童保育所(福間小学校内) ☎42・4401、福間南小学校学童保育所(福間南小学校内) ☎42・1117、福間南しんあい児童クラブ(いろどり真愛保育園内) ☎43・2158、津屋崎小学校学童保育所(津屋崎小学校内) ☎52・0492、勝浦小学校学童保育所(勝浦小学校横) ☎52・4625

35歳以上の大人のラグビースクール生を募集

ラグビーの経験の有無は問いません。未経験でもプレーすることに興味がある人や、しばらくブランクがある人、経験のある人などの参加をお待ちしています。見学だけでも大歓迎です。クラブのホームページでも情報を発信しています。

日時 毎週日曜日午後2時～午後4時

場所 福間漁港多目的広場

対象 35歳以上

問い合わせ 玄海オールロードパイルーツラグビークラブ 吉澤さん ☎090・2518・2263

旭橋交差点-福間駅みやじ口前間の道路「福間駅松原線」が開通します

「都市計画道路 福間駅松原線」が、12月15日(火)に開通(供用開始)します。なお、開通後も円滑な交通体系の構築を図り、踏切内での閉じ込め防止を目的として、JR鞍手県道踏切を車両通行止めとし、歩行者と自転車の通行のみとします。また、工事完了後も車両の通行はできません。皆様のご理解をお願いします。

開通日時 12月15日(火)午後2時～

問い合わせ 市建設課 ☎62・5062



広報ふくつをお読みいただきありがとうございます。はがき裏面の質問にご回答のうえ、63円切手を貼って郵送するか、市役所、市立図書館、津屋崎行政センターの意見箱に投函してください。

POST CARD

郵送する場合
お手数ですが
63円切手を
お貼りください

811-3293
福津市役所
まちづくり推進室 行

広報 **ふくつ** 2020. **12**

フリガナ氏名 _____ 年齢 _____ 歳
 住所 〒 _____
 電話番号 _____
 ペンネーム _____

※名前と住所は必ず記入してください

- 2 特集 ふくつの精神
— コロナに負けない不屈の魂 —
- 16 まちの話題
- 18 SDGs/消費生活/福津防災/図書
- 20 小中学校の過密化は今
- 24 好いとお! 福津/男女
- 26 情報広場
- 32 #福津工一ル飯

次号は12月22日(火)に配布開始

次号の広報ふくつは12月15日・1月1日合併号として、**12月22日(火)**に発行し、同日から5日以内を目途に配布します。

10月のひとの動き 10月末現在

内 訳	前月比	前年比
■人口(人)	67,099 +31	+1,090
男性(人)	31,752 +21	+609
女性(人)	35,347 +10	+481
■世帯数(世帯)	28,568 +31	+675

新型コロナウイルス感染症に関する相談・受診方法 ※11月19日現在

発熱等の症状がある場合、まずは、かかりつけ医等の地域で身近な医療機関に電話相談してください。

- 相談した医療機関で診療・検査が可能な場合→当該医療機関を受診
- 相談した医療機関で診療・検査ができない場合や、かかりつけ医がなく、相談する医療機関に迷った場合→受診・相談センターに問い合わせ、案内された医療機関に電話相談した上で受診

注意点

- ・受診前に必ず電話相談をし、来院時間を決定してください。
- ・できる限り公共交通機関以外で受診するようにしてください。
- ・来院時間を守り、マスクを着用して受診してください。

※重症化しやすい高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方、妊婦の方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合は早めにご相談ください。

相談先 受診・相談センター(宗像・遠賀保健福祉環境事務所) ☎0940・36・6098、FAX0940・47・0031(夜間休日の相談先は☎092・643・3288)

— わたしの時間がだれかの支えになる —

子育て支援のはじめ方講座

(全3回)を開催します

「自分の経験が生かせたら」「お母さんの子育てと人生を応援したい」といった人に向けた講座を開催します。参加は無料で、予約が必要です。詳しくは市公式ホームページを確認するかお問い合わせください。



第1回「ともに出会う」 ※第1回のみ参加も可
講演後、講師を囲んで意見交換なども行います。
日時 12月19日(土) 午後1時30分～午後4時30分
場所 市役所別館大ホール ※Zoomを使用してオンラインでの参加も可能

講演 “オール北九州”で応援する北九州の子ども食堂について
講師 子ども食堂ネットワーク北九州 事務局 長迫和宏さん
ファシリテーター Reed Labo 代表 辻桂子さん
対象 子育て支援に興味・関心がある人

これから活動をしたい人や現在活動している人
定員 50人
※定員を超えた応募があった場合は、市内在住者を優先します
託児 生後5カ月以上の未就学児、1人300円、要予約
受付期限 12月11日(金)
受付方法 電話、ファクス、市公式ホームページの申し込みフォームのいずれから申し込み

第2回「ともに考える」
日時 令和3年1月16日(土) 午後1時30分～午後4時30分
内容 市内活動の事例紹介、意見交換

第3回「ともに創る」
日時 2月27日(土) 午後1時30分～午後4時
内容 活動をはじめするためのワークショップ

受付、問い合わせ まちづくり推進室 ☎62・5017、FAX43・3168



▲講座の参加申し込みフォーム

地雷撤去のための書き損じはがきを回収中
書き損じのはがきなどを集めて換金し、カンボジアの地雷撤去団体へ寄付を行っています。ご協力をお願いいたします。
対象品 書き損じ・未使用のはがき、未使用の切手、未使用のテレホンカード、QUOカード、図書カード
受付期限 令和3年3月31日(水)
送付先 〒814-1000 福岡市早良区西新1-7-11 一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン 1

「年賀状展」の作品を大募集
あなたの自慢の手作りの年賀状をお待ちしています。なお、市立図書館窓口にて作品を提出した人には参加賞をお渡しします。
応募方法 官製はがきサイズの用紙を提出 ※応募作品は返却できません
受付期限 12月27日(日)
展示期間 令和3年1月5日(火)～1月11日(月・祝)
受付、問い合わせ 市立図書館 ☎42・8000

リラックステイ
リズムに合わせて、無理なく、優しい体操です。
日時 12月14日(月) 午前11時～正午
笑いヨガ
笑って元気に免疫力をアップしましょう。
日時 12月16日(水) 午後2時～午後3時
毎週木曜日はシルバーデー
70歳以上の人は1人1回20分までヘルストロンが無料で利用できます。
問い合わせ 潮湯の里夕陽館 ☎52・3353

各公園でクリスマスイルミネーションを点灯
期間中、ささやかなイルミネーションを点灯します。
期間 12月1日(火)～12月25日(金) 午後5時～午後9時
場所 なまずの郷入口、みずがめの郷管理棟前、宮の元公園入口
問い合わせ なまずの郷 ☎42・8800、みずがめの郷 ☎43・8850、宮の元公園(あんずの里運動公園) ☎52・0901

イオンモール福津で健診を実施します

皆様のご要望にお応えして、イオンモール福津で健診を実施します。普段忙しくて時間が取れない人や、受診するきっかけがなかった人など、いつもの買い物ついでに気軽に受診してみませんか。予約が必要です。約1時間で受診できます。

健診日時	令和3年1月17日(日) 午前10時30分～正午、午後1時30分～午後4時
場所	イオンモール福津2階イオンホール
健診項目	特定健診、大腸がん検診、肝炎検査 ※特定健診は市の国民健康保険に加入の30歳から74歳(75歳の誕生日前日まで)の人が対象
受付方法	電話または市公式ホームページの申し込みフォームから申し込み
定員	先着160人

その他、ふくとびあや宗像医師会健診センターでは、胃・大腸・肺・乳・子宮がんの検診も1日で受診できます。なお、ふくとびあでの健診は12月までとなっていますので、お早めにお申し込みください。年に1度、自分の体を見直すきっかけ作りにぜひご利用ください。
受付、問い合わせ 市いきいき健康課(ふくとびあ) ☎34・3351



▲健診の申し込みフォーム

広報ふくつは“みんなと市のいい関係”を築くことを目指して、行政課題や教育文化などの特集を組んでいます。特集のことや別の記事のこと、紙面以外にも日々の生活のことなど、皆さんの声をお聞かせください。

2020.12 特集 **ふくつの精神** — コロナに負けない不屈の魂 —

Q 今月号の特集はいかがでしたか。次の中から一つ選んで○をつけ、感想をご記入ください。
1.よくなかった 2.あまりよくなかった
3.普通 4.よかった 5.とてもよかった

感想

Q 今後どのような特集があればいいと思いますか。

Q 今月号でよかった記事は、どのコーナーですか。

Q 今月号でよくなかった記事は、どのコーナーですか。

Q 紙面の感想、福津市に住んで思ったこと、こうなったらいいなと思うことなど、自由にご記入ください。

※ご協力ありがとうございました。今後の広報ふくつの紙面づくりに活用させていただきます。

第3弾始めます!!

お得な電子クーポンでお店を応援!!

12月1日~1月31日
期間中最大 **20% OFF**

年末年始もお得にグルメを楽しもう♪

ハッシュタグ

#福津エール飯 第3弾

市内飲食店を応援する「#福津エール飯」の第3弾を始めます。今回は**お買い上げ500円(税込み)ごとに**、電子クーポンが使用でき、手軽に福津のグルメを楽しめます。ぜひご利用ください。

福津市民の皆さん。

新型コロナウイルス感染症の影響で飲食店が大変な打撃を受け、いつも通うあの店にも危機が訪れています。この危機を救うのは私たちの「店内飲食」や「テイクアウト」「デリバリー」です！1人では救えないけれど、いつもの店のあの味を、福津の皆さんと守りたい！



飲食店の皆さん。

新型コロナウイルス感染症の影響で疲弊し、皆さんの心が元気をなくしてしまいそうな今、あなたの料理が皆さんに元気をもたらします！

店内飲食、テイクアウト、デリバリー、どの方法でも構いません。皆さんの美味しい料理で、お客さんを笑顔にしましょう！

◆クーポン内容

電子クーポンはお買い上げ500円(税込み)ごとに1枚使用でき、1枚につき100円引きされます。なお、1グループ1会計とし、一度に使用できるクーポンは最大10枚(1,000円引き)までです。詳しくは以下の使用例をご確認ください。

◆使用例

①1人で700円分お買い上げの場合

$$700\text{円} - 100\text{円(値引額)} = 600\text{円}$$

②5人で7,500円分お買い上げの場合

$$7,500\text{円} - 1,000\text{円(値引額)} = 6,500\text{円}$$

※お支払いの際は、代表者の端末1台を使用してください

◆クーポン使用手順

①専用ウェブサイト「まちメシ」にアクセス

②各店舗のページを開く

③電子クーポンを取得し、使用ボタンを押す

※写真は全てイメージです

▶福津エール飯登録店舗や留意事項など、詳しくは専用ウェブサイト「まちメシ」をご覧ください

